

信濃町 国道18号沿いの町史跡

「野尻一里塚」に光を

信濃町野尻地区の国道18号沿いに残る町史跡「野尻一里塚」一帯を憩いの場にしよう
と、近くにある別荘地の自主管理組合「野尻湖グリーンタウン」の会員らが整備してき
た公園がほぼ完成した。蒸気機関車(SL)D51が二十二―二十四日にJR信越線長野
―黒姫(信濃町)間を走るのに合わせて、二十三日には開園祭を開く。一般の人の参加
も呼び掛けている。



公園となるのは同管理組合の土
地で、広さは約二千平方メートル。名称
は「野尻一里塚公園」とした。以
前はテニスコートだったが、十年
以上前から放置されていた。総事
業費は約四百二十万円。県の元氣
づくり支援金二百八十三万円余も
活用した。

町教育委員会によると、「野尻
一里塚」は二基が対になっており、
いずれも直径が十二メートル、高さは二
・六メートルの盛り土状。二基の間隔は
十七メートルある。北国街道沿いの宿駅
が整った四百年ほど前に造られた
と推測されている。県内の県や市

信濃町野尻の「野尻一里塚」一帯を整備した公園

2000平方メートルの公園を整備 別荘地の自主管理組合

町村が文化財に指定する二十四の
一里塚のうち、二基が対となって
現存するのは十三にとどまるとい
う。

同組合は、足元の史跡に光を当
てようと一年ほど前から準備を進
めてきた。公園内にはウッドデッ
キや遊歩道、周辺部には花壇を設
けた。トイレや水道も整備する予
定だ。公園を設計した同組合理事
の伊藤治磨さん(66)は「神奈川県相
模原市には「一里塚をはじめ一帯
には多くの歴史的価値が残ってい
ることを再認識してもらい、気軽
に集える憩いの場として利用して
もらいたい」と話している。

開園祭は午前十時から。塚の一
つに町木のオオヤマザクラを植樹
するほか、花壇にスイセンの球根
を植える。公園整備に合わせて一
里塚を解説した看板も立てられて
おり、町教委の担当者による解説
もある。そばなどの模擬店も出る。
黒姫駅からは午前十時二十分から
午後二時発のシャトルバスを計六
便運行する。

問い合わせは同管理組合(260
26・2558・2221)へ。